

宇宙養殖実験の現状報告

岡山理科大学 生物生産教育研究センター



宇宙養殖実験の現状が報告された第6回OUSフロンティアセミナー。顔写真は山本准教授(上)と横田さん(下)

生物生産教育研究センター 水を使った宇宙での養殖実験が取り組んでいる、好適環境の現状について、生命科学部の山本俊政准教授らが2月28日、岡山キャンパスで開かれた「第6回OUSフロンティアセミナー」で報告しました。山本准教授は「2030年には国際宇宙ステーション(ISS)での飼育実験をめざしたい」との見通しを示しました。

この取り組みは、米国主導の月面探査計画(アルテミス計画)など地球外への人類の進出が現実味を帯びてくる中で、他の天体で居住する場合、食糧生産が課題になるとの問題意識が背景にあります。第1ステップの主な実験内容は以下の通りです。

- ① 過重力環境で魚卵が孵化するか
- ② 微小重力環境で魚卵が孵化するか
- ③ 微小重力下で餌が食べられるか
- ④ 微小重力下で骨異常、成長不良が起きないか
- ⑤ 骨密度の影響

センターの発表によると、まず3カ月間、無換水でトラフグとヨシエビの飼育に成功。成長率も良好で、排泄物や餌の食べ残しから発生した硝酸塩の影響は問題ないレベルでした。また、超電導マグネットによる磁気浮上で再現

した微小重力下で、ヒラメの受精卵の孵化に成功し、仔魚の状態を確認。さらに遠心力を利用して重力を制御する高速3Dクラノスタットを使った微小重力実験で、クルマエビが餌を食べている様子も確認しました。

こうした結果を受けて、山本准教授は「餌を食べたというのは大きな前進。今後は3カ月ではなく、1年単位の無換水、さらに作業の無人化ができれば」と話しています。

この研究には、山本准教授と理大フロンティア理工学研究所の牧祥准教授、生物生産教育研究センターの津村誠一招聘教授、理大大学院理工学研究科(修士課程)の横田千尋さんが携わり、この日は山本准教授と横田さんが発表しました。



加計大賞を受賞した高木さん(右)と作品の「もくもく探検隊」

世界の恐竜切手

岡山理科大学 300点一挙公開

岡山理科大学恐竜学博物館では世界中の国・地域が発行した「恐竜切手」約300点を特別展示しています。5月17日まで。生物地球学部の元教授である西戸裕嗣氏の世界恐竜切手コレクションの中からえりすぐりの約300点(41カ国・地域)を公開。西戸元教授が1980年代から収集をはじめた切手や郵便関連品は3,000点にも及び、恐竜切手コレクションとしては、世界有数のものです。



世界各地の恐竜切手がずらりと並ぶ展示会場に立つ西戸元教授

各国自慢の恐竜や、さまざまなデザインを凝らした切手は芸術性も高く、それぞれの国の切手への熱意がうかがえます。また、世界最初の恐竜切手(1958年・中国)を使った初日カバーは希少で、見ものです。

2024年度卒業制作展 大賞はイラスト分野の高木さん

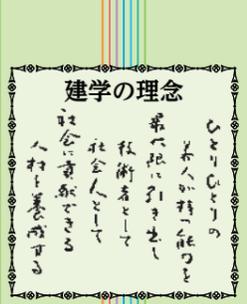
2024年度の倉敷芸術科学大学卒業・修了制作展卒業制作展(1月15~19日)会場の倉敷市立美術館には芸術学部の卒業予定者89人の作品が並びました。

初日は各賞候補作品の審査があり、加計勉大賞にはデザイン芸術学科4年生高木優奈さん(愛媛県立伊予高校出身)の小学生向けのポスターゲーム「もくもく探検隊」が輝きました。高木さんは「子どもたちが興味を持つようなデザインを追求しました。それが評価されてうれしい」と喜びを話しています。

吉備中央町・町教委との包括連携協定締結

吉備中央町、吉備中央町教育委員会と吉備高原学園高校は2025年2月17日、地域振興や人材育成などの取り組みをこれまで以上に推進することを目的に、包括連携協定を締結しました。

吉備中央町賀陽庁舎(行われ)の締結式には、山本雅則町長、石井孝典教育長、難波徹洋校長が出席し、協定書に署名しました。探究学習を通して「地域の課題を解決する」あるいは、小中高合同でのイベントを開催するなど、これまで以上に地域の方々と協力しながら活動することで、地域の発展に寄与していく予定です。



建学の理念

いづみは、人々の心を開き、社会に貢献する人材を育てる。

加計学園グループ

- 学校法人 加計学園
- 学校法人 英数学館
- 学校法人 広島加計学園
- 学校法人 吉備高原学園

岡山理科大学 今治 合格者数は 全大学で4位に

合格率81.9%

獣医師国家試験の

農林水産省が3月12日に結果を発表した2024年度獣医師国家試験で、岡山理科大学獣医学部は受験者数116人のうち95人が合格しました。合格率は前年度比14.4%アップの81.9%で全17大学のうち12位、合格者数は4位でした。私立大学でみると合格率は2位でした。

農水省によると全体の受験者1,440人のうち合格者は1,036人で、合格率は71.9%でした。新卒者の合格率は83.8%で、北海道大学の95.1%がトップ、次いで帯広畜産大学が94.6%、鳥取大学94.3%などとなっています。13大学で80%を上回りました。

今回の結果を受けて、斉藤真也・獣医学部長は「今回このように優秀な成績を達成できたのは、学力向上に取り組んだ教員たちの尽力と、それに応えてくれた6年生たちの努力の結果です」と合格率が上がった要因を解説。さらに「目標に向かって頑張れば成果が得られることを見事に証明してくれました。今後獣医師となった卒業生たちが岡山理科大学の名のもとに活躍してくれることを期待しています」と話しています。

岡山理科大学 THE世界大学ランキング2025

英国の高等教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(Times Higher Education, THE)が10月9日に発表した「世界大学ランキング2025」。岡山理科大学は総合ランキングで、ランクインした世界2092大学のうち、1501+位、国内ではランクインした119大学のうち63位タイでした。今回、日本の大学のランクイン数は前年より3校多い119校で、初のランクインを達成した岡山理科大学は、「関関同立」と同ランクとなりました。

このランキングは、世界の大学を、Teaching(教育)、Research environment(研究環境)、Research quality(研究の質)、Industry(産業)、International Outlook(国際性)の5分野について、18の観点から評価して総合順位が決定。上記の指標のうち、本学はIndustry(産業)で世界1069位となり、企業・地域と連携した本学の多様な研究テーマが高評価につながったとみられます。

岡山理科大学は中四国の私立大学で唯一ランクインしており、近畿以西の西日本では私立大学6位タイ、全国の私立大学では20位タイとなっています。

<「THE世界大学ランキング2025」にランクインした主な国内の大学>

28	東京大学	351-400	北海道大学、筑波大学
55	京都大学	401-500	東京医科歯科大学(東京科学大学)
120	東北大学	601-800	広島大学、慶應義塾大学、神戸大学など
162	大阪大学	801-1000	岡山大学、早稲田大学など
195	東京工業大学	1001-1200	千葉大学、横浜市立大学など
201-250	名古屋大学	1201-1500	一橋大学、東京理科大学、横浜国立大学など
301-350	九州大学	1501+	岡山理科大学、愛媛大学、青山学院大学、中央大学、同志社大学、関西大学、北里大学、関西学院大学、明治大学、立教大学、立命館大学、上智大学など

岡山理科大学 「学際的科学ランキング」では日本私学4位タイ

また、THEが11月21日に発表した「学際的科学ランキング」。岡山理科大学はランクインした世界749大学のうち、601+位、国内ではランクインした42大学のうち22位タイでした。今回、日本の大学のランクイン数はReporterを含む42校で、初のランクインを達成した岡山理科大学は国内の私学4位タイで、東京都市大学や、関西大学、立命館大学と同ランクとなりました。

このランキングは、世界の大学を、inputs(資金)、process(成功の尺度、施設、管理サポート、プロモーション)、outputs(出版物、研究の質、評判)の3分野、11の指標から評価して総合順位が決定。上記の指標のうち、本学はprocess(成功の尺度、施設、管理サポート、プロモーション)で国内15位となり、本学の研究施設や研究に対するサポートなどが高評価につながったとみられます。

「THE世界大学ランキング2025」 中四国の私学で唯一ランクイン 西日本の私学で6位タイ

審査員は「モチーフが可愛い!夜の遊園地は少し怪しく、でもドキドキして好奇心が止められない、次は何がくるんだろう?起るんだろう!という不思議な感覚になる感覚を描いているなと思います。遊園地の住人たちがとても可愛く、きつこのドキドキは楽しくキラキラしたものなんじゃないかなとポジティブな気持ちにさせられる作品でした」と講評しました。

今年も初夏から第14回倉魂を募集します。全国から多数の応募を期待しています。

倉敷芸術科大 第13回倉魂!高校生コミックイラスト+現代アートコンクール2024

恒例の「第13回倉魂!高校生コミックイラスト+現代アートコンクール2024」には全国から358点の応募があり、27点が受賞、47点が入選。大賞には大阪府立立工芸高等学校のP.N.しらたまさんが輝きました。

海外生の集中スクーリング実施 千葉科学大附高

2月1～7日の1週間、中国、モンゴル、タイから来日した海外生14人が集中スクーリングに参加しました。書道の授業では「とめ」「はね」「はらい」といった技法がすべて含まれている「永字八法」、「永」を書きました。初めて筆を使う生徒もいましたが、上手に書くことができました。最終日は千葉の自然科学を学ぶため、屏風ヶ浦と犬伏崎へ足を運び、地層の観察をしました。



書道で「永」の字に挑戦する海外生

キリンビール岡山工場を見学 英数学館岡山校

日本語科では、日本語教育を通してグローバル社会に貢献できる人材の育成をめざす中で、社会経験の一環として、12月12日、校外学習でキリンビール岡山工場を見学しました=写真。

ビールの成り立ちから学習し、麦芽の試食やホップの香りを鼻で感じ、学生たちは初めての体験に目を輝かせていました。

また、企業が持つ社会的役割の重要性や企業理念を学ぶことで、日本企業への興味関心を高めるだけでなく、改めて自身の将来を見つめ直すことができる良い経験となりました。



今回のテーマは、第1回大会(2011年)と同じ「私のホームステイした体験などを基に、「日本は最新技術・伝統文化、国民の温かさが調和した魅力的な国です」と身振り手振りを交えて訴えました。今大会から審査内容がかわりました。審査員の内容がかわりましたが、テイリリンチョウさんは、盛りだくさんのエピソードがスピーチに盛り込まれ、食事のマナーやその意味まで踏み込んで非常に深い分析がされていた」と講評しました。テイリリンチョウさん以外の入賞者は次の皆さんです。準優勝IIラッサラー・イシャディウイクラミンハさん(スリランカ)▽審査員特別賞IIパンティラー・プルックワーカーオさん(タイ)▽岡山県知事賞IIト・ボムチョンさん(韓国)▽愛媛県今治市長賞IIムウサ・ザファールさん(パキスタン)副賞として優勝者には奨学金10万円、準優勝者には7万円、審査員特別賞には5万円、今治市長賞には同市の伝統工芸品「桜井漆器」のペアグラスが贈られました。

済州航空機事故で韓国の民放テレビが辻特担教授に「バードソニック」取材

韓国・務安(ムアン)国際空港で昨年末に発生し、乗員・乗客179人が犠牲になった済州航空機事故で、事故の原因が鳥と衝突する「バードストライク」の可能性も指摘されていることから、韓国の民放テレビ「SBS」から岡山理科大学の辻維周・特担教授に鳥獣害対策装置に関する取材があり、1月12日にその内容が放送されました。

辻特担教授は、山梨県の自動車部品メーカー「T.M. WORKS」が開発した、高周波音・低周波音を放射して鳥やイノシシ、クマなどを追い払う装置の検証作業やメンテナンスなどに協力。昨年3月には関西国際空港、大阪国際空港(伊丹)など関西3空港のバードストライク対策で、高周波音を放射する「バードソニック」を2基ずつ試験的に設置し、その効果を確認中です。

国内の空港ではこのほか、中部国際空港(愛知県)、喜界空港(鹿児島県)、屋久島空港(同)、鳥取空港(鳥取県)など計5空港に設置されています。

SBSのニュース番組では、さまざまなバードストライク対策が紹介され、その一つに辻特担教授のバードソニックが取り上げられました。オンライン取材を受けた辻特担教授は「これまで設置した装置によって、鳥の出現率もバードストライクも減少している」と日本の空港で鳥害対策に効果を上げている現状を説明しました。



韓国SBSテレビにオンラインで出演した辻特担教授



優勝したテイリリンチョウさんをオンラインで表彰する加計学理事長

加計学園 第14回加計学園杯 日本語弁論国際大会決勝大会

「第14回加計学園杯日本語弁論国際大会決勝大会」が12月6日、学園創立50周年記念館と7カ国8会場をオンラインで結んで開催され、ミヤンマー代表のテイリリンチョウさんが優勝しました。大会の様子はYouTubeでライブ中継されました。

大会は学校法人加計学園が主催し、外務省、文部科学省、岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、一般財団法人岡山県国際交流協会のご後援で行われました。今年8月から10月にかけて7カ国8会場地区大会があり、総勢約2,000人が参加。これを勝ち抜いた8人が決勝大会に臨みました。今回のテーマは、第1回大会(2011年)と同じ「私の



発表者(画面)を含めて関係者全員で記念撮影

ホームステイした体験などを基に、「日本は最新技術・伝統文化、国民の温かさが調和した魅力的な国です」と身振り手振りを交えて訴えました。今大会から審査内容がかわりました。審査員の内容がかわりましたが、テイリリンチョウさんは、盛りだくさんのエピソードがスピーチに盛り込まれ、食事のマナーやその意味まで踏み込んで非常に深い分析がされていた」と講評しました。テイリリンチョウさん以外の入賞者は次の皆さんです。準優勝IIラッサラー・イシャディウイクラミンハさん(スリランカ)▽審査員特別賞IIパンティラー・プルックワーカーオさん(タイ)▽岡山県知事賞IIト・ボムチョンさん(韓国)▽愛媛県今治市長賞IIムウサ・ザファールさん(パキスタン)副賞として優勝者には奨学金10万円、準優勝者には7万円、審査員特別賞には5万円、今治市長賞には同市の伝統工芸品「桜井漆器」のペアグラスが贈られました。

海外志向が高まっている生徒に伝えようと、本校は今年度より、異文化理解を深めるための国際理解教育に力を入れています。9月24日・27日、韓国の修学旅行に6人の生徒が参加しました。本校では初めての海外修学旅行で、参加生徒も全員初めての海外渡航で緊張していました。韓国とサイパンで国際交流プログラム実施



国際交流プログラムの様子

「リーダースhipチャレンジinサイパン」のプログラムは、岡山理科大学を含む他大学の学生が参加し、現地の小・中学校にも含む研修でした。参加した生徒は、現地の生徒・児童とJNNG(参

加者の大学生という異文化・異年齢の人たちとのコミュニケーションを通して、今までの常識や価値観が大きく変化し、グローバルな視点を持つことができたと言っていました。今年度は「韓国語」の講座を開設し、受講した生徒で韓国の修学旅行に参加した生徒は、自分の学んだ言語を実際に使用し、会話が通じることが嬉しかったと言っていました。来年度は「英会話」の講座を開設予定。これらの海外研修や「韓国語」・「英会話」の講座は人との関わりを通じて異文化理解を深めることを目的としており、他国の人と関わって知ること、感じることを大切にしたいという思いから本校では今後も国際交流プログラムを推進していきます。

ペットフード開発

獣医学部が開発に協力し、ジビエを使ったペットフードが11月1日から、オンラインで販売されています。有害鳥獣として捕獲されたシカを利用して犬用のドライタイプのペットフードです。



獣医学部が開発協力したジビエのペットフード

害などに悩まされていた愛媛県鬼北町の獣害対策として浮上したアイデア。捕獲後、埋設処分していたシカなどの有効利用を、と獣医学部や今治明德短期大学、愛媛県産業

岡山理科大 今治 今治 今治 タオル誕生

獣医学部が愛媛県産業技術研究所、今治市の西染工(株)と共同開発したペット用のタオルが発売されました。体を拭く際に毛が絡みにくいというペットにも飼い主にも優しい逸品です。ジビエを使ったペットフードの発売に続いて、産官学の連携でまた新たな商品が誕生しました。



共同開発したペット用タオルを手にする(左から)菅規行副知事、西染工(株)の福岡友也・商品事業部長と村田拓也獣医学部副学部長

めざしたのは、ペットの健康や飼い主の利便性にも配慮した「吸水性が高く、軽く、しかも毛が残留しないタオル」です。ペット用に最適化されたタオル生地の開発から始め、同センターで試作されたタオルを実習や獣医学教育病院で使用し、使用感を数値化して性能を評価し、それをフィードバックしながら改良を重ねました。こうした研究の末にたどり着いたのが、糸がループ状になっているパイルの生地の上下をガーゼ生地で挟み込んだ3層構造のインナーパイルタオルです。体を拭いた際の毛の残留量は平均で約3割も減らすことに成功しました。サイズは一般家庭に

多い小型犬向きに長さ95センチ、幅33センチのフェイスタオルサイズとなりました。綿100%の自信作です。製品は「今治タオルブランド商品」の認定を受け、赤青白でデザインされたブランドロゴが付けられました。ピンクとブルー、グレーの3色です。値段は3,520円(税込込み)。西染工のオンラインショップで販売されています。

「獣工連携」で教材開発



獣医保健看護学科の教材用として、岡山キャンパスの学生が手作りの包帯巻圧計測装置「まきよるONE」=写真①=を利用した実習が10月30日、今治キャンパスでスタートしました=写真②=。「獣工連携」で誕生した初の教材です。デバイスを開発・製作指導した情報理工学科の赤木徹也教授は「実習生にとって、自分のステータスを確認しながらスキルアップが可能なので、モチベーションを維持しながら取り組むことができるはず」と独自の教材に期待を込めます。「まきよるONE」は赤木教授が、「犬たちの負担にならないよう500円玉サイズと重さで」という獣医保健看護学科の佐伯香織准教授の要望に応じて、電源にフィルム状のリチウムイオンポリマー電池を使うなどして軽量化を実現。マイコンは小型かつ極低電力で、スマホとのBluetooth通信が可能なBLE対応の機種を選定しました。また、圧力センサに加わる力をスマホに伝送するハードウェアを開発し、AndroidとiPhoneの両方で使えるアプリでデータを可視化するなど、4カ月以上の時間をかけて完成させました。

このプロトタイプをもとに、実習用として20個を製作したのが、大学院理工学研究科システム科学専攻の修士課程2年、山下隼平(しゅんぺい)さんと同1年の石橋卓実さんです。石橋さんは「実際に使ってみてもらって、センサの形状や測定範囲の拡大など、新たな課題も見つかりました。自分たちが作ったデバイスが役に立っていると思うと、とてもうれしいし、やりがいがあります」と笑顔で話し、山下さんは「現場に来て、実習で実際に使えるデバイスなんだと実感して、すごく達成感があります。トラブルが全くなくてホッとしています」と満足そうな表情で、実習の様子を見守っていました。

今後セラピードッグの育成・普及、そして、専門職の養成に全力を注ぎ、人と動物のあたたかな共生社会を目指していきます。

「セラピードッグ」実習

動物管理学科ドッグセラピーコースの実習授業のメインは「動物介在活動」で、「セラピードッグ」の育成・普及啓発に力を入れています。候補犬を含む4頭のセラピードッグを学生が中心となって育成管理しています。「動物介在活動」とは、高齢者施設や障害者施設等で、動物とのふれあいやレクリエーションを通して癒しや楽しみの提供、精神的身体的機能の向上等を目的とした活動。岡山県津山市にある介護老人保健施設「おとなの

学校岡山校にて、就職した卒業生もいる中、毎年お互いのセラピードッグ育成に関する意見交換や技術の向上を目的とした「研修及び合同練習会」を実施しています。今年度も2回程実施し、「臨床におけるセラピードッグの介入効果やその過程」について、今後の課題や展望について実践的に学び合う場となりました。本校学生にとって、現場で実際に活動を行っている就職した卒業生やセラピードッグと触れることは、技術向上に繋がる貴重な経験となりました。



セラピードッグ実習の様子

岡山理専 来年度4月、建築学科にインテリアデザインコースを新たに開設

2026年4月から、建築学科(昼間部2年制)に、インテリアデザインコースを開設します。コース選択は2年次からで、住宅やオフィスなどの室内デザインから、家具や照明器具などのデザインまで、幅広い分野にわたって活躍していくデザイナーを養成。在学中にインテリアコーディネーターの資格取得を目指します。近年の材料費や物価高騰の影響により、新築建物の着工が減少する中、今後はリフォームやリノベーションなどの建物改修のニーズが高まっていくとみられています。また、室内空間のリフォームは、技術的なものよりデザインセンスが問われる場合が多くなることから予想されます。

これまでの建築の技術者は、デザインの分野は苦手な傾向がありますが、本校ではデザイン分野の強化も目指すコースです。卒業後すぐに二級建築士の受験も可能で、よりマルチな建築士の人材育成を目標としています。

男子新体操部員がドイツで 体操ショーのツアーに参加

華麗な演技で 22万人の観衆を魅了!

男子新体操部員6人が昨年12月から今年1月にかけて、ヨーロッパで有名な体操ショーに参加し、華麗でダイナミックな演技を披露して会場を沸かせました。同行した菅正樹・男子新体操部監督は「学生たちは慣れない環境の中で、よく頑張りました。この公演を通して、表現力にさらに磨きがかかったと思います」と遠征成果に手応えを感じている様子です。



菅正樹監督

菅監督は大分県出身。小学3年から新体操を始め、花園大学2年と3年時には全日本学生選手権大会で個人2連覇を達成。世界最高峰のエンターテインメント集団「シルク・ドゥ・ソレイユ」に3年間在籍し、米国ラスベガスを拠点に活躍しました。2020年4月から芸科大の男子新体操部監督として、22年(から部活)の監督を務めています。現在、教学機構助教。

遠征に参加したメンバーは、いずれも生命科学部健康科学科3年の猪原颯良さん、岩崎隼大さん、小寺真輝さん、山本光輝さん、山本直輝さん、生命医科学科1年の榎本竜政さんです。

演目は新体操の団体演技と創作ダンスを中心とした集団演技の二つ。集団演技の振付は「乃木坂46」などを手掛けるSeishoyanが担当してくれ

並木学院高

eスポーツ部員が 体験会を実施

3月8～9日、広島市の青少年センターで青少年の文化活動を発表する場として「ヤングフェスタ」が開かれ、eスポーツ部員から自主的に18人が参加しました。

青少年センターは小学生から30歳までの文化活動を応援する施設で、本校生徒はeスポーツの発展につながればと3年前からボランティアとして参加。企画・運営・交渉・ゲームの利用許諾まですべて生徒が中心となって取り組んでいます。

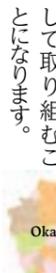
イラスト班、壁ポスター班は会場づくりを行い、宣伝班は近くの商店にポスターを張りに行き、動画制作班は2日間で紹介動画を作成。やる気がある生徒が自主性を持ってワイワイ楽しく準備していました。



体験会を盛り上げたeスポーツ部員ら

今年直前に3学期の単位認定試験があり、飾りつけやポスター作製の日程があまりない中で失敗を重ねながら何とか開催にこぎつけました。当日は満員御礼でびっくりなしに人がやって来て大盛況。約170人の来場者があり、多くの人にeスポーツを体験してもらいました。

終わった時には全員へとへとになっていましたが、みんな笑顔でした。自分たちですべて運営していったからこそその達成感を得られたと思います。毎年生徒の大きな成長を感じられる一年の締めくくりの会で生徒は「来年度はもっと内容を充実させていきたい」と、もう来年のことを考えている様子でした。



全国専門学校テニス選手権大会 女子シングルス準優勝！ 団体3位の大快挙

10月6～10日、北海道札幌市で全国専門学校テニス選手権大会が開催され、本校から女子シングルス、女子ダブルス、女子団体が出場。



女子シングルスで準優勝した住友さん

中国ブロック1位通過の女子団体は初出場ながらも、スポーツ・体育系の強豪専門学校を抑え堂々3位の快挙。個人ダブルスは惜しくも初戦敗退でしたが、シングルスでは保健看護学科2年の住友里穂さんが決勝まで勝ち上がり、昨年に引き続き準優勝という輝かしい成果を収めました。

住友さんは「今後も勉強・部活動ともに精進していきたいと思っています。応援ありがとうございました」と話していました。

スポーツ協会と振興連携協定

加計学園

学校法人加計学園と岡山県スポーツ協会は11月27日、スポーツ振興に関する連携協定を締結しました。「スポーツ立県おかやま」の実現を目指し、連携して取り組むこととなります。

- (1) 課外活動の充実等を通じて、ユニバーシティの育成・強化を推進することにも
- (2) 研究者による専門知識・知見の提供や学生の参加等により、協会が行う事業の充実・活性化に協力する。
- (3) 研究者による専門知識・知見の提供や学生の参加等により、健康で活力のある地域づくりを推進する。
- (4) 協会は、指導者の派遣等により、学園の教育・課外活動の充実・協力する。
- (5) 協会は、学生に対する実地体験の場の提供、研究者に対する研究成果実践の場の提供、スポーツに関する各種情報提供等により、学園の教育・学術研究に協力する。



協定書を手にする(左から)加計理事長、越宗会長

加計学園

冬季国スポで躍動



華麗なる演技を見せる三宅咲綺選手

1月27～30日に開催された「第79回国民スポーツ大会冬季大会」スケート競技のフィギュア成年男子、少年男子、成年女子には、岡山理科大学附属高校の卒業生と現役の4選手が出場して、団体の岡山県の入賞に貢献しました。

成年男子の三宅星南選手(星樺大学)、少年男子の小河原泉颯(いぶき)選手(岡山理科大学附属高校1年)、成年女子の三宅咲綺選手(岡山理科大学経営学部4年)、岡本真緒選手(法政大学)の4人。成年男子団体は4位で3年

連続の入賞、少年男子団体は2年連続の入賞となる5位でした。成年女子は団体7位で、昨年の4位に続く2年連続での入賞を果たしました。三宅咲綺選手は「岡山で国スポが開催され、地元の方々の応援を力に換えることができ良かったです」と振り返り、今後の目標について「トリプルアクセルを試合で成功させ、海外の試合に出場することです」と力強く語ってくれました。

フィギュアスケートに続いて、2月1～5日にはアイスホッケー競技が行われ、学園からは▽少年▽いずれも附属高の三島勘介、東郷大地、中嶋奏音、津川航太、伊藤律、大上主馬、高田琉史、富松怜生、山本悠真の各選手▽成年男子▽吉澤周人選手が出場しました。

世界ソフトテニス選手権での戦果を上松選手が理事長に報告 日本勢初の個人V、団体3連覇の偉業達成

第17回世界ソフトテニス選手権大会(9月4～9日、韓国)男子シングルスで日本勢初の優勝と、男子団体3連覇を達成した岡山理科大学附属高校出身の上松俊貴選手が11月18日、加計学園を訪れ、加計役(まもる)理事長に成果を報告しました。



加計理事長(右)から花束を贈られた上松選手(左)

この日、学園を訪れた上松選手に、岡山理科大学A1号館1階のラウンジで、加計理事長から祝福の花束が贈られました。

次の目標については、来年、韓国で2016年以来的開催となるアジアソフトテニス選手権を挙げ、「連覇を達成したい」ときっぱり、世界に飛躍する26歳に今後とも大いに期待したいと思えます。

中西選手が理事長に パリ五輪入賞報告

岡山理科大学附属高校出身で昨年のパリオリンピック・アーチェリー競技の混合団体で5位、男子団体で8位に入賞した中西紬哉選手(シーアール物流)が10月10日、加



中西選手(中央)に花束を贈って健闘をたたえる加計理事長(左)と加計孝太郎学園長(右)

加計理事長からの激励を受けて、中西選手は「取り逃したメダルがあるので、母校のためにもロサンゼルス大会では必ずメダルを取りたいと思っています」と力強く目標を語りました。

桑木選手が メジャー大会初優勝

女子プロゴルフツアー



桑木志帆選手

生命科学部健康科学科在学中で学園の特別支援措置学生でもある桑木志帆さんが、今シーズン最終戦「JLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ」(11月21日～24日開催)で通算12アンダーの完全優勝で、4大会初優勝を達成し、昨初Vからの3勝目をメジャー初制覇で飾りました。

岡山県出身者が4大会を制するのは2019年の渋野日向子選手以来です。

御影こども園 サイエンスショーを鑑賞

9月12日、岡山理科大学の滝澤昇・応用化学科教授と科学ボランティアセンターの学生が訪れて、サイエンスショーを披露してくれました。

空気の力を利用してプロワーで風船を浮かせたり、ロケット風船を作ったり、空気砲で煙を飛ばしたりと盛りだくさんな内容に、園児たちは目をキラキラさせながら見入っていました。子どもたちからは「すごい!」「どうして?」の声が上がり、ワクワクドキドキの笑顔の1日になりました。



科学ボランティアセンターの学生たちと記念撮影

文化祭の収益金を 池田動物園に寄付しました

岡山市の池田動物園の環境整備に役立ててもらうため、文化祭の収益金78,649円を11月29日、池田動物園に寄付しました。

上中遥稀生徒会長から寄付金を受け取った動物園の赤迫良一総務部長は礼を述べた後、「動物のえさ代に使わせていただく」と話していました。

上中生徒会長は、ほかにも校内で拾ったドングリをクマのえさとしてプレゼント。「岡山県唯一の動物園である池田動物園をこれからも応援していきたい」と話していました。収益金寄付にご協力いただき、ありがとうございました。



収益金を赤迫部長(左)に手渡す上中生徒会長(右)

「瀬戸内海の海運の歴史に迫る貴重な資料」 直島沖の早崎水中遺跡で 古代・近代にわたる遺物と近世の沈没船を確認

岡山理科大

香川県・直島沖の「早崎水中遺跡」の遺物などを調べていた調査団(代表・富岡直人・岡山理科大学副学長は1月23日、沈没船の周辺で新たに9世紀末〜10世紀初頭の九州北部産土師器や東海系の須恵器などが見つかったと発表しました。調査団はこの時期の沈没船が見つかるのは極めて稀。明治期より古い時期の海上交通、海運の歴史に迫り、海を介した人の動きをみるのに非常に貴重な資料」としています。

記者発表は岡山理科大学で行われ、富岡副学長、遺跡を発見した生命科学部の山本俊政准教授と、共同調査者である岡山大学の柴田亮・文明動態学研究所助教が出席。ほかに研究グループ代表の京都橋大学の南健太郎・文学部准教授▽特定非営利活動法人・水中考古学研究所(京都市)の吉崎伸理専長▽株式会社加速器分析研究所神奈

川県の早瀬亮介取締役▽一般社団法人・文化財科学研究所(奈良県)の金原裕美子主任研究員▽神戸大学の中田達也(海事科学部准教授がオンラインで出席しました。

この遺跡は1990年代半ば、水中カメラの試し撮りで潜水した山本准教授が水深約20m付近で、たまたま多数の陶磁器や沈没船を発見。1998年3月に財団法人トヨタ財団の研究助成を受けた水中考古学研究所が潜水調査を実施して「早崎水中遺跡」と命名していました。

航空マネジメントコース1期生が 「航空管制官採用試験」に合格!

千葉科大

航空技術危機管理学科・航空マネジメントコース4年の竹腰沖夏さん=写真=が、「航空管制官採用試験」に最終合格し内定を獲得しました。難関の国家公務員試験であり、航空マネジメントコースの1期生(現4年)による快挙です。

航空マネジメントコースでは、航空会社や空港関連会社で活躍できる、幅広い航空知識と国際感覚を持った人材を養成。運航管理者、航空管制官、航空会社・空港関連会社のスタッフ、客室乗務員など、さまざまな航空業界で活躍し、米留学により国際感覚と高い英語力を身に付けた人材を養成します。

同学科のパイロットコースでは、大手エアラインなどのパイロットを数多く輩出しています。今後、空の安全を支えるために、航空マネジメントコースの学生たちの活躍が大きいと期待されます。

愛とまごころと勇氣に感謝 富士川さんに岡山県善行賞!!

玉野医専



岡山県善行賞を授与された富士川さん

岡山県倉敷市内の用水路に転落していた70代の女性を救助したとして、9月6日、作業療法学科4年の富士川智子さんに岡山県善行賞が授与されました。

富士川さんは8月5日午後、買い物帰りに母親を同乗させた車を運転中、道路脇の用水路に誤って転落した70代女性と助けを求めるその家族を発見。用水路は深さ1m20、30cmで30cm程度の水が流れており、女性の顔が浸かっていたといえます。

車を降りた富士川さんはとっさに用水路に飛び込み、女性の気道確保や声掛け、脈拍確認などの応急措置を施したため、女性は一命をとりとめました。富士川さんは「玉野医専で培った医療人としての人徳教育の賜物です」と話しています。

鉾子警察署長より 感謝状が授与されました

千葉科学大

千葉県鉾子警察署の鈴木宏和署長から今年1月29日、千葉科学大学の3つの学生サークルをはじめ地域の関係組織に対して感謝状が授与されました。写真。

学生サークルは、地域安全活動に取り組み、消防・防災ボランティアの「学生消防隊」、警察支援活動に取り組む「スターラビッツ」「DRR災害初動研究会」です。これらのサークルは「人を助けたい」という思いを持つ学生が、危機管理の基礎を授業で学び、サークル



活動で実践的に動き経験し学び、そして将来危機管理のリーダーとして活躍していけるように日々訓練を行っています。日常生活での助け合いもそうですが、実際に災害が発生した際にも各組織で連携して、迅速に人を助けられるように、鉾子市とも連携し危機管理対応の強化を図ってきたと思っています。

大規模土砂災害で迅速な対応を実現 航空LiDAR計測利用し、従来比1/10の時間で流出土砂量把握



多数の報道関係者が集まった記者発表会

国内初の「生物地球科学」の佐藤教授らが開発

生物地球科学部の佐藤文晴教授らの研究グループが9月24日、同時多発的な土砂災害発生直後に迅速かつ効率的に土砂移動域を特定し、流出土砂量を把握する技術を開発し、特許出願したと発表。航空レーザー計測で取得できるDigital Surface Model(DSM)を活用し、従来の手法に比べて10分の1以下の期間で流出土砂量を算定する技術で、国内初の手法です。これにより、労力とコストを抑制することが可能で、復旧体制の迅速な整備に役立つことが期待されます。

この日、記者会見した佐藤教授によると、従来の手法では航空レーザーを利用するものの、災害前後の標高値を比べると、樹木等の影響で実際の土砂と誤差が生じるため、技術者による目視判読が必要で、実際の土砂移動域を特定したうえで土砂

岡山理科大 科研費、4年連続で 中四国の私学1位!

大学など研究機関の研究力の高さを見る指標となる2024年度の科学研究費補助金(科研費)の私大ランキングが、このほど公表され、岡山理科大学は採択件数121件、配分額2億4,154万円で、4年連続で中四国の私学1位になりました。

配分額順に見た全国順位は、採択された私立590大学のうち44位でした。この順位は2019年度61位、2020年度58位、2021年度50位、2022年度51位、2023年度43位と推移しており、今年度の配分額は昨年度に次いで過去2番目の高さを維持しています。

英数学館中 中学生ロボコン 全国大会で初優勝



優勝した(左から)亀和田さんと桐山さん

2月1日に東京で開催された「創造アイデアロボットコンテスト全国大会」の基礎部門で、英数学館中学校の「ボールを乗せてハコフデス」チームが優勝しました。

チームは3年の亀和田誠さんと桐山侃大(かんた)さん、石井寛幸さんの3人。全国大会への出場に当たり、予選会である広島県大会や中国・四国地区大会からロボットを改良しながら練習を積み重ねましたが、本番では用意されたアイテムが滑りやすくて練習通りに競技ができず、なんと決勝トーナメントに進めるような状態でした。

しかし、メンバーで課題を分析して作戦を変更したことが功を奏して、決勝トーナメントでは有利に競技を進め、栄冠をつかむことができました。チームで困難を乗り越え成功に至る経験はメンバーたちにとって大きな財産になったはず。

英数学館高 うみぼす甲子園で グランプリ受賞

本校では、生徒たちが自分らしく生きるための「軸」となるものを見い出せるよう、「桃」と呼ぶ校外のイベントやセミナーへの参加を積極的に促し、視野を広げて自分や社会を見つめ直す取り組みを進めています。

今年度は全国大会で高い評価を得たものもあり、「白石踊チーム」は海洋連盟主催「うみぼす甲子園2024」(11月3日)で39校225チームの中からグランプリに選ばれました。写真。最初、生徒たちは探究公欠をとって島に行けという軽い気持ちで始めました。



実際に白石島(岡山県笠岡市)に行き島民と交流していくことで、少子高齢化問題や伝統文化の継承について自分事として考えるようになったそう、生徒たちは活動を継続していく気持ちが一層強くなったようです。

2024 秋の叙勲 善木名誉教授に 瑞宝中綬章



2024年秋の叙勲で、岡山理科大学の善木道雄(ぜんきみみちお)名誉教授が瑞宝中綬章を受章しました。

善木名誉教授の専門は分析化学で、川や海などに微量に存在するイオンや、岩石・鉱物中に存在する金属の分析測定に関わる研究に取り組まれました。特に大きな評価を得たのが、迅速・高精度の定量と試薬回収を両立した独自の分析手法の開発・確立です。この業績が認められ、日本分析化学会FIA研究懇談会から2001年にFIA学術賞を、2006年にはFIA論文賞が贈られています。この分析方法は、ゼロエミッション、3R運動、SDGsを指向する時代の要求にも合致した、クリーンかつ効率的・経済的な分析方法でした。

また、岡山理科大学岡山研究所長や岡山理科大学附属中学校の初代校長などを歴任。「面白く身になる化学」をモットーに、出前授業や講演会、化学実験教室などを通じて科学の面白さを普及に努めました。

この手法を利用すると、被災範囲が40平方メートルの場合、現在は5人の技術者を投入して12日間程度かかっていたのに、たった1日で土砂量の把握が可能。従来の10分の1以下の期間で土砂量が把握できるため、人員費だけでなく、復旧作業に着手する時間も大幅に短縮することができそうです。

新しい手法では、AI(人工知能)を活用し、災害発生前の航空レーザー計測データと、発生後のデータのうち樹木等の部分を排除して比較し、土砂がえぐれた部分を特定。さらに航空写真と合わせて解析したうえで土砂量を算出します。

理大附高 科学部が 「準グランプリ賞」と「ベスト技術賞」を受賞!!



受賞した「安土城」

1月18、19日に愛知県豊橋市の「こども未来館こここ」で行われた、第4回ユース・モデリング・コンテスト豊橋で、科学部が「準グランプリ賞」と「ベスト技術賞」を受賞しました。

第4回ユース・モデリング・コンテスト豊橋に本校科学部の金鳥雅空さん、齊藤優太さん、小幡琴羽さん、渡邊梨穂さん(いずれもグローバルサイエンスコース1年)が出演し、作品「安土城」が、準グランプリとベスト技術賞を受賞しました。

卒園生が「ブルグミュラーコンクール東中国大会」で銀賞受賞!



銀賞を受賞した西川さん(後列右から3人目) ESG倉敷こども園

本園卒園生の西川源悠さん(現・英数学館小学校1年)が、11月23日に開催されたピアノコンクール「ブルグミュラーコンクール東中国大会」で銀賞を受賞しました。西川さんは、現在本園の課外ピアノレッスン小学生コンクールコースに在籍していて、当園初のコンクール入賞者となりました。西川さんは「自分の演奏番号と名前を呼ばれビックリしました。これからもピアノの練習を頑張ります」と喜んでいました。

文化祭を開催! 千葉科学大附高

千葉科学大学の学園祭「青澄祭」(11月9~10日)に合わせて、本校の文化祭を開催しました。「綱引き大会」「逆ミスコン」や軽音楽部による演奏など盛りだくさんで、会場全体が両日とも盛り上がりました。



バンドで参加する校長先生を応援